

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-013

PDCA	事務事業名	橋梁維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当	鶴飼
						内線等	437
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (2) 生活道路の整備 個別施策： ②道路の長寿命化対策					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	主要な橋梁の適切な維持管理					
	目的を達成するための手段・活動内容	定期的な点検を実施し、計画的かつ予防保全的な維持管理を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①橋梁修繕を実施した橋数	4	3	5	橋	
		②橋梁点検を実施した橋数	33	0	10	橋	
		事業費	52,918	53,195	45,527	千円	
		人件費	3,173	3,378	2,301	千円	
		総事業費	56,091	56,573	47,828	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①橋梁修繕1橋にかかるコスト	10,265	18,858	8,542	千円		
	②橋梁点検1橋にかかるコスト	455	0	512	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①修繕橋梁数	実績値	4	3	5	橋
			目標値	5	3	5	
②点検橋梁数		実績値	33	0	10	橋	
		目標値	40	0	10		
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —			
	事業の評価・課題	B 修繕計画に基づき、目標としていた5橋の修繕を実施し、橋梁の適正な維持管理を行うことができた。また、道路法に基づき10橋の定期点検を実施し、そのうち、簡易な構造である5橋については、職員が目視点検を行いコストの縮減を図ることができた。引き続き、法に基づく5年毎の定期点検を実施し、異常の早期発見および修繕を行っていく必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		引き続き、定期点検による異常箇所の早期発見と計画的な修繕を行うことにより、道路橋の予防保全に努める。また、点検については、職員による目視点検を組み込みコストの縮減を図る。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①修繕橋梁数	48	橋			
	②点検橋梁数	33	橋				